



Contents

センターの仕事：企画部 ・ 建設 ICT 人材育成センター

産学民官連携：岐阜県自然共生工法研究会

〔センターの仕事〕 企画部

☎:0584-81-1332 ✉: kikaku@gifu.crcr.or.jp cr.or.jp

なんでも相談

センターでは、県内市町村の皆様が行う建設業務を支援するため、建設業務に関する問い合わせ窓口として、「なんでも相談室」を設置しています。

工事の計画・発注・現場管理・完成検査、公共施設

の維持管理や災害対応の支援に関する、国の事業メニューや新技術の活用等の建設行政全般に関することなど、様々な相談に応じています。



相談例 1

✓鉄道建設に伴う市道の占用物(下水道)の移設に関し、いつ計画・設計すべきか教えて欲しい。

⇒鉄道建設に伴う市道付替設計が定まらない時点では、下水道事業計画変更に伴う管路のルート検討を行っても手戻りを生じる可能性があります。市道付替設計成果の入手が必要です。管路ルート検討を市道付替設計を実施している業者に委託できると合理的です。今後、管路ルート検討の打合せへの同席、ルート検討に関する相談などを支援できます。

相談例 2

✓公民館の特定天井の改修に係る予算要求等について教えて欲しい。

⇒当該特定天井は、既存不適格ですが、大規模地震時には、人命に係る被害も想定されます。公共施設であり、不特定多数が利用するため、改修の緊急性が高いと思われます。緊急性をアピールし、耐震補強として予算要求すると良いと考えます。改修事業実施にあたっては、国庫補助金等の活用について、県と調整してみてください。

総合評価落札方式の支援

発注者は、建設業者の技術的能力を適切に審査し、価格と品質が総合的に優れた調達を実現することが必要です。

これを具体化するものが、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」に位置づけられた総合評価落札方式です。従来の価格だけで評価していた落札方式と異なり、

企業の技術力など価格以外の要素と価格の両方を総合的に評価し落札者を決定する方式です。価格と品質の両方を評価することにより、総合的に優れた調達を行うことが可能になります。

センターは市町村が実施する総合評価落札方式を支援しています。

事務が煩雑になるのでは？

市町村向けの総合評価落札方式には、特定のテーマに関する簡易な施工計画を評価する方式の「簡易型」のほか、施工計画の評価を要件とせず、同種工事の施工実績や工事成績など、定量化された評価項目と入札価格を総合的に評価する方式の「特別簡易型」があります。

「特別簡易型」を活用し、入札参加者の施工能力をより簡易に評価することにより、価格以外の要素を適切に盛り込みつつ、発注者の事務負担も軽減できます。

学識経験者を探すのが大変では？

センターでは、学識経験者を各市町村で探さなくてもよいように、学識経験者である岐阜大学や岐阜工業高等専門学校の先生に意見を聴く場「総合評価共同会議」を設けています。

総合評価共同会議は、リモートで参加することができるため、事務の効率化が図れます。ぜひご活用ください。



〔センターの仕事〕 建設 ICT 人材育成センター

☎:0584-71-7001 ✉:kensyu-tk@gifu.crcr.or.jp

建設ICT人材育成センターでは、県内の建設関係行政職員の技術力向上を図る研修や、将来の県土づくりを支える人材の育成・確保および建設現場における生産性の向上に向けて行う研修を行っています。

県・市町村職員研修

行政職員を対象とした研修では、「測量」「地質調査」「構造物の設計と管理」といった土木に携わる職員に共通する研修、「道路政策」「都市政策」など土木行政を学ぶ研修、「道路設計」「舗装」など設計に関することを学ぶ研修、「災害復旧」「橋梁点検」など実践を通して学ぶ研修、「CAD」や「歩掛積算」といったPC操作演習をする研修など各種メニューを設けています。

また、初任者向けの研修として「発注・監督業務



の基礎」「土木基礎」といった研修もあります。令和5年度は38回開催し、延べ911名の方に受講いただきました。

「武蔵CAD」「土木基礎」「構造物の設計と管理」「ドローン操作」「測量」では受講希望者数が定員を超えましたが、講師の方に相談しながら机の配置など工夫をして全ての方に受講いただけるようにしました。

令和6年度も土木行政に携わる方々の技術力向上につながる研修を企画・開催してまいります。

※参照：P4「令和6年度の研修計画」



「災害復旧」研修
模擬査定の様子

「武蔵CAD」研修
PC演習の様子



建設業担い手育成研修

建設業の担い手の方を対象とした研修では、

- 新規入職者の確保・定着
- 建設業のスキルアップ（経営力向上）
- 建設業のスキルアップ（技術力向上）
- 生産性向上に向けたICT担い手の育成

のテーマ毎に各種研修を行っています。



「ICT 土一括」
ICT 建機体験の様子

「初任者研修」
座学の様子

令和5年度は「初任者研修」、「建設人材の育成と定着」、「工程管理」、「3次元設計データ作成」など計39回開催し、996名の方に受講いただきました。

新たな取り組みとして、建設業に関する専門知識、建設業の役割を学ぶことに重点を置いた「建設業初

任者研修」の開催、令和3年に名古屋市に開設された中部インフラDXセンターの研修エリアをお借りして、従来よりも大人数を対象としたCIM研修の開催、オンラインセミナーの定員を増員する、といったことを実施しました。



「ドローン操作」
ドローン操作の様子



令和6年度も、新しい情報を担い手の方に伝えられるような研修やセミナーを企画・開催してまいります。

親子の土木見学バスツアー

令和5年10月14日(土)、小中学生とその保護者を対象に、土木事業への理解と興味をもっていただくことを目的としたバスツアーを開催しました。

当日は13組35名の方に参加いただきました。今回は郡上市内の現場を見学しました。

行程

9:00	集合 中濃総合庁舎(美濃市)
9:10	出発
10:35~	内ヶ谷ダム建設現場(郡上市)
12:25	昼食・休憩
13:15	
13:25~	奥田洞谷土砂災害対策工(郡上市)
14:40~	サンプル工房(郡上市)
16:55	解散 中濃総合庁舎(美濃市)

今回のツアーを企画する際に、見学地の関係者の方々からいろいろなアイデアを出していただきました。

参加者の方からは「大変満足した。」「測量体験やいろいろな体験ができてよかった。」「普段みる事ができない現場をみる事ができた。」という感想を多くいただくことができました。

今後も、土木事業に興味を持っていただけるようなツアーを開催してまいります

内ヶ谷ダム建設現場

岐阜県郡上市大和町地内にて建設が進められている内ヶ谷ダムの現場を見学しました。

現地に設置された展望台から現場の様子を一望し、工事の内容などの説明を聞いた後、「測量機器体験」として、測量器具に触れたり、歩いて距離を計測したりしました。

最後に堤体に使用する骨材に絵を描いてもらいました。



奥田洞谷土砂災害対策工

奥田洞谷にて進められている土砂災害対策工を見学しました。

現地にて担当者から対策工の内容などの説明を聞いた後、索道を用いて高いところに資材を運搬する様子や、ドローンで撮影する様子などを見学しました。



街づくり講演会

令和6年1月29日(月)、ぎふメディアコスモスにて、街づくり講演会を岐阜県都市計画協会と共同で開催しました。

講演会第1部では、

特定非営利活動法人NPO birth
事務局長 佐藤留美 様 より、

「みどりのチカラはまちの力!

~グリーンインフラを活かしたみどりのまちづくり~
と題して、公園緑地を拠点として産官学民のパートナーシップでまちづくり活動を実践している取り組みや、諸外国における取り組みなど多くの事例についてご講演いただきました。



第2部では、

名古屋大学大学院 情報学研究所

准教授 浦田真由 様より、

「産学官民連携によるICTを活用したまちづくり

~利用者視点でのデジタル社会実現に向けて~」

と題して、データ連携・利活用によって人々が暮らしやすい社会をデザインする取り組みについて、これまで携わられてきた自治体における事例を交えながらご講演いただきました。



聴講された方からは、「みどりの機能に目をむけることで、まちも人も建築も何倍にもいきてくると感じた」「まちづくりのためのICT活用には多様な活用方法があると感じた」といった感想をいただきました。



令和6年度の研修計画

※計画(案)はR6.3時点のものであり、開催月・研修名について変更する場合があります。

県・市町村技術職員研修

開催月	研修名	開催月	研修名	開催月	研修名
4月	NEW(仮)土木行政初任者	6月	土砂災害対策	8月	入札制度・工事検査
4月	JW-CAD(初級)	6月	下水道	8月	クレーム対応
4月	JW-CAD(中級)	6月	植栽	9月	舗装
4月	AutoCAD	7月	構造物の設計と管理	9月	橋梁設計
5月	危機管理	7月	河川	9月	安全管理
5月	歩掛・積算(第1~3回)	7月	道路政策	9月	段取り力向上
5月	災害復旧(第1~2回)	7月	都市政策	10月	ドローン操作
5月	武蔵CAD(基礎編)	7月	地質調査	10月	測量
5月	武蔵CAD(応用編)	8月	土木基礎	10月	文章力向上
6月	歩掛・積算(用地編)	8月	道路設計	11月	橋梁点検
6月	発注・監督業務の基礎	8月	建設ICTの発注と監督	12月	街づくり講演会

建設業担い手育成研修

開催月	研修名	開催月	研修名	開催月	研修名
5月	建設業初任者研修1	6月	3次元設計データ作成(東濃)	8月	働き方改革【WEB】
5月	建設業初任者研修2	6月	3次元設計データ作成(飛騨)	8月	企業の魅力発信
5月	OJT研修【WEB】	6月	工事書類作成【WEB】	8月	PC研修 建設DXの実践
5月	ドローン操作実習(初級)1	7月	3次元設計データ作成(中濃)	9月	3次元測量【WEB】
5月	ドローン操作実習(初級)2	7月	BIM/CIM	9月	安全管理
5月	現場基礎【WEB】	7月	建設ICT普及研修	10月	ICTによる現場効率化【WEB】
5月	コミュニケーション力向上	7月	設計品質向上【WEB】	10月	PC研修 建設業のDX【WEB】
6月	NEW 女性技術者の活躍	7月	工程管理【WEB】	10月	外国人労働者受入れ【会場・WEB】
6月	NEW(仮)ドローン関連法規	7月	施工計画力向上【WEB】	未定	伴走支援型建設ICT活用研修(岐阜)
6月	説明力向上	7月	交渉能力向上【WEB】	未定	伴走支援型建設ICT活用研修(西濃)
6月	ICT土工一括	7月	人材育成・定着1,2	未定	伴走支援型建設ICT活用研修(中濃)
6月	3次元設計データ作成(岐阜西濃1)	8月	原価管理【WEB】	未定	伴走支援型建設ICT活用研修(東濃)
6月	3次元設計データ作成(岐阜西濃2)	8月	工事成績評価アップ【WEB】	未定	伴走支援型建設ICT活用研修(飛騨)

〔産学民官の連携〕 岐阜県自然共生工法研究会

【事務局】岐阜県建設研究センター 企画部

ホームページ <https://shizenkyousei.jp/>



自然共生工法研究会は、水と緑があふれ、多種多様な生物を育む自然豊かな県土の保全・復元を図り、次の世代にすばらしい県土を引継いでいくために、産学民官の協働による自然と共生した県土づくりを目指して、平成13年12月に設立されました。

以来、岐阜県が進める「自然の水辺復活プロジェクト」推進のために、産学民官が共同して「自然共生工法の実践研究」「自然共生工法の担い手の育成」「自然共生への意識変革」に関する活動に取り組んでいます。



センターは、産学民官で連携して活動している団体の事務局として、団体の活動の企画立案や事業の運営を行っています。

植物生育・魚類生息環境勉強会

自然環境の創出、復元、保全活動を進めていくうえで必要な知識を学ぶことを目的として、植物や魚類の生息を支える環境を現地で学びます。



編集・発行 公益財団法人 岐阜県建設研究センター担当 : 企画部 北神・河村

TEL 0584-81-1332 FAX 0584-81-1352 <https://www.gifu.crcr.or.jp>

